

I 組織の使命

競輪事業部は、当市の財政に貢献することをめざし、函館競輪の開催および他場開催競輪の車券発売を行っています。

競輪事業部のミッション（使命）は、

競輪事業の実施により財政への貢献をめざすとともに、北海道で唯一の競輪場として、自転車競走の振興と発展、さらには産業振興とスポーツ振興に寄与することを目標に、将来にわたって競輪文化の明かりを絶やさずことなく灯し続けることです。

全国的な人口減少や高齢化の進展、価値観の多様化など様々な要因によって競輪界を取り巻く環境は年々厳しさを増しており、また、かつては地域性の強いレジャーとしての位置づけであった競輪事業も、交通体系の発達やIT技術の進展とともに全国規模の車券発売が可能となり、他の競輪場との競争は激しさを増しております。

さらに、令和2年度(2020年度)以降は、新型コロナウイルスの全国的な感染拡大により、全国的に競輪の開催中止が相次ぐなど、業界全体が大きな影響を受けているところです。

このような厳しい環境の中で、現在の競輪ファンの維持に加え、新たなファン層の開拓や、経費節減等による収益確保が今まで以上に強く求められていることから、環境の変化に柔軟に対応し、その使命の達成に向け組織が一体となって取り組みます。

II 組織の基本方針

- 競輪事業は大きな変革期にあります。競輪事業が果たしてきた歴史的な意義を忘れることなく、常に自己革新と新たな課題への挑戦（チャレンジ）を続け、安定した経営基盤の確立に向け、全力で取り組みます。
- 競輪事業を将来にわたって引き継いでいくためには、競輪ファンばかりでなく、多くの市民の理解を得ることが不可欠であり、競輪が果たしてきた役割や現状などを知っていただけるよう、これまで以上に広報活動を行うとともに、オリンピック競技にもなっている自転車競技の魅力を伝える努力を続けます。
- 全国競輪関係機関との情報共有に努めるとともに、組織内の情報を共有化し、自由闊達な雰囲気の中で、時代の変化をつかみ、失敗を恐れずに効果的・効率的な事業運営の確立に組織一体となって取り組みます。
- 国内や地域における新型コロナウイルス感染症等の状況を引き続き注視し、開催運営にあたっては、市民をはじめとしたお客様や参加選手、開催関係者の健康と安全を確保するため、適切な感染防止対策を講じます。

Ⅲ 主要施策・事務事業

1 函館競輪の魅力向上

(1) 競輪事業および自転車競技への理解の促進

- ★ 競輪事業について市民の理解を促進するため、広報活動を充実するとともに、関係団体が主催する競技大会やサイクリング大会への支援などにより自転車の魅力を市民に伝えます。

(2) ファンサービスの充実と新たなファンの開拓

- ★ 売上増を図るため、包括受託者と連携し、地元をはじめとした競輪ファンのニーズに合致した施策を積極的に展開するとともに、地元選手会や選手会OB会等と協働し、競輪事業の活性化を図ります。
- ★ 予想会や選手OBを活用したガイダンスコーナーの充実等により、若年者や初心者をはじめとした新たなファンの開拓に注力し、お客様が安心して快適に滞在できる環境の充実に努めます。
- ★ 近年、既存のファン層だけでなく、若年者や女性を中心とした新たな層からも注目されている「ガールズケイリン」の開催数を、今後もより多く開催できるよう関係機関に働きかけるとともに、未来のガールズケイリン選手の発掘、育成サポートを行う「ホワイトガールズケイリン育成プロジェクト」を継続して実施し、自転車競技の普及・発展を目指します。
- ★ 函館競輪場やそこで行われる開催情報・イベント等を知っていただくためのツールとしてWebやSNS媒体をこれまで以上に活用し、多くのお客様に函館競輪場の魅力を伝えることで来場者の増加や新規ファンの獲得に努めます。

(3) 集客性の高いビッグレースの誘致

- ★ 北海道唯一の競輪場として、関係者が一丸となって特別競輪等の集客性の高いビッグレースの開催誘致に取り組み、地域における競輪の認知度向上とファンの拡大に努めます。

(4) 他の競輪場等との連携促進

- ★ 電話投票会員や臨時場外向けのファンサービスの拡大を図るとともに、全国の競輪場やサテライト、民間ポータルサイト等へ発売協力を依頼し、場外車券売場の拡大を図ります。

2 競輪事業の経営改善

これまで包括民間委託等による開催経費の削減や、中央団体等への働きかけで制度が見直され、競輪振興法人交付金が削減されたことなどにより、負担軽減が図られたことに加え、インターネットにおける函館競輪のPR強化やミッドナイト競輪の開催、特別競輪の誘致などの売上拡大策を推進したことで、函館競輪の経営改善を着実に進めてきました。

このような取り組みが実を結び、令和4年度(2022年度)は全国的に新型コロナウイルス感染症の影響が継続する中での開催でありましたが、引き続き万全の感染対策を実施したことにより、全日程65日のうち中止したのは1日のみと、ほぼ全ての日程を無事に終了し、当初予算を大幅に上回る売上および収益を上げることができました。

新型コロナウイルス感染症に対応した開催形態の変化、インターネットの進展によるお客様の投票動向の変化など、大きな変革期にある競輪事業において、函館競輪を将来に渡って継続していくため、今後も、より一層安定した経営基盤を確立するよう、職員一丸となって取り組んでまいります。

(1) 関係機関との連携による安全な開催運営・各種制度の改善

- ★ 新型コロナウイルス感染症等の状況を引き続き注視するとともに、開催中の事故防止などをはじめとした安全に競輪開催を行うための取り組みを、全国競輪関係団体等と連携して実施します。
- ★ 長年の要望活動などが実り、平成24年度(2012年度)から競輪制度自体を見直し、長期的に競輪事業を継続できるよう、JKA交付金の負担軽減など自転車競技法が改正されたほか、競輪選手数やレース数の削減などによる選手賞金の削減などの改革が進められてきましたが、これらの効果を検証しつつ、今後とも関係機関と連携し、各種制度の改善要望活動を実施します。

(2) 競輪場施設の計画的・安定的な維持管理

- ★ 競輪場施設は、全面改修から既に20年以上が経過しており、今後の大規模改修等に要する財源確保が課題となっていることから、施設の計画的・安定的な維持管理を目的とした「競輪事業施設整備基金」への積み立てを行うとともに、しっかりとした財政収支試算を行い、将来の大規模改修等に備えます。

(3) 市財政への貢献

- ★ 今後の収支改善により見込まれる収益については、施設改修費への充当や基金への積み立てのほか「市財政への貢献」という競輪事業の使命を達成するため、一般会計への繰り出しを継続して実施します。